



避難訓練だより

2024 年 認定こども園大津保育園 46-5811
携帯番号 090-1549-6223



子どもに対する避難訓練の目的とねらいは「実際の災害時に安全に避難出来るようにすること」です。子ども自身が避難訓練の大切さを理解し、保育士のお話をしっかりと聞いて指示に従うことが大切です。大津保育園では毎月抜き打ちで避難訓練を行っています。毎回繰り返し行うことで落ちついて迅速に動けるように訓練しています。また毎回避難訓練を振り返り、安全に避難出来るようにするためにとは職員で話し合い改善に努めています。

地震訓練

地震の震度を設定し、放送で地震が起き揺れていることを知らせます。職員は場所によってどのように身を守るか判断し子ども達に避難の仕方を知らせます。揺れがおさまった後は即座に情報収集を行います。津波が来ることを設定し、第二避難の大津小学校に歩いていく訓練も行っています。

火災訓練

出火場所を近所や給食室などに設定し、出火場所の伝達方法、風向きによってどこに避難すればよいのかを的確に判断し迅速に子ども達を避難場所まで誘導します。年に2回消防署立会いで避難訓練を行い、実際に消防署に通報したり、避難の様子を見てもらい改善点を聞き見直しをしたり、職員による消火訓練も行っています。

不審者訓練

職員が不審者と書かれたゼッケンをつけて、不審者役になります。不審者とのインターホン対応訓練や、侵入してきた設定での訓練では、職員全員に侵入したことを知らせ、子ども達を室内に素早く避難させ施錠し安全確保をします。同時に複数の職員で不審者対応に向かい不審者を確保します。この時は、子ども達が怖がらないよう不審者の姿は極力見せないよう配慮します。園にはさすまたやネット銃、木刀、3台の防犯カメラ、緊急通報装置（警察に直通）が設置してあります。



震度が強い設定の時には、揺れがおさまった後、園庭に出ます。そこから、**大津小学校**へ避難します。



大津小学校に
避難しています

避難の際は、このようにそれぞれの門に避難場所がわかるようにパネルを貼ってお知らせします。

歩けない子は避難車やベビーカー、保育士におんぶをされて避難します。

大津保育園は川や海に近いので津波が起きてしまった時の避難について常に考えています。素早い情報収集、津波の警報段階を知ること。大津小学校への避難ルートを2つにし、臨機応変に使い分け、避難ルートの途中にも神社など高台の避難場所を取り入れるようにしています。



大津小学校へのルート

- ① 保育園前の道を横切って直進するルート
- ② 保育園前の道(27号線)を直進するルート